環境経営レポート

2021年10月～2022年9月

株式会社峯樹木園

2023年 4月21日発行

目　　次

環境経営方針 …… 1

（１） 事業活動の概要 …… 2

（２） 実施体制図 …… 3

（３） 中期環境経営目標 …… 4

（４） 環境経営目標と実績 …… 5

（５） 環境経営計画と実施状況 …… 6

（６） 環境活動取組結果の評価及び次年度の取組内容 …… 7

（７） 環境活動状況 …… 8

（８） 環境関連法規等の遵守状況 …… 9

（９） 代表者による全体の評価と見直し …… 9

（10） 次年度以降の中期環境経営目標 …… 10

環　境　経　営　方　針

＜環 境 理 念 ＞

株式会社峯樹木園は、造園緑化事業活動が地球環境に及ぼす影響を認識し、

環境経営システムを構築して、地球温暖化問題に取り組み、循環型社会の

進展に寄与して、地球環境との共存を目指し、環境経営の継続的改善に

努めます。

＜ 活 動 方 針 ＞

1. 造園緑化事業での植物廃棄物ゼロを目指し、燃料化・肥料化などによる循環資源への活用・研究に努めます。

2. 造園緑化事業を拡大し、植物による二酸化炭素吸収量の増加に努めます。

3. エコドライブに取組み、燃料使用量の低減を図ると共に、電気使用量を監視し、二酸化炭素排出の削減に努めます。

4. 廃棄物は可能な限り排出しないよう、社内でのリサイクルに努めます。

5. 節水に対する意識を高め、水使用量の低減に努めます。

6. 事務用品のグリーン購入に努めます。

7. 化学物質の適正な管理に努めます。

8. 環境に関連する法律・条例を遵守し、地域社会との調和に努めます。

9. 環境方針を全従業員に周知し、環境意識の向上を図るとともに、各自の環境活動の役割を明確にします。

10. 環境方針は、社内外に公開するとともに、顧客および地域住民の皆様との環境コミュニケーションに取り組みます。

改定日：2021年　4月　1日
制定日：2008年　4月　1日

株式会社峯樹木園

代表取締役　　峯　由知

1. 事業活動の概要

(1)会　社　名　　株式会社　峯樹木園

(2)代　表　者　　代表取締役　　峯　由知

(3)所　在　地　　〒811-1103　熊本県合志市野々島4393番地54
TEL　096-242-1045　　FAX　096-242-3789

(4)環境管理責任者および担当者
責任者　　峯　由知　代表取締役
担当者　　峯　登輝子 取締役
連絡先　　TEL　096-242-1045　　FAX　096-242-3789

(5)事業内容　　・造園業
・樹木生産及び販売
・木炭・木酢液の製造販売
許可　　・造園工事業(熊本県第6466号H.2812.12～H.3312.11)

(6)設　　立　　昭和50年　3月

(7)沿　　革　　有限会社峯樹木園　設立　　昭和50年　3月
株式会社峯樹木園へ商号変更　　昭和60年11月

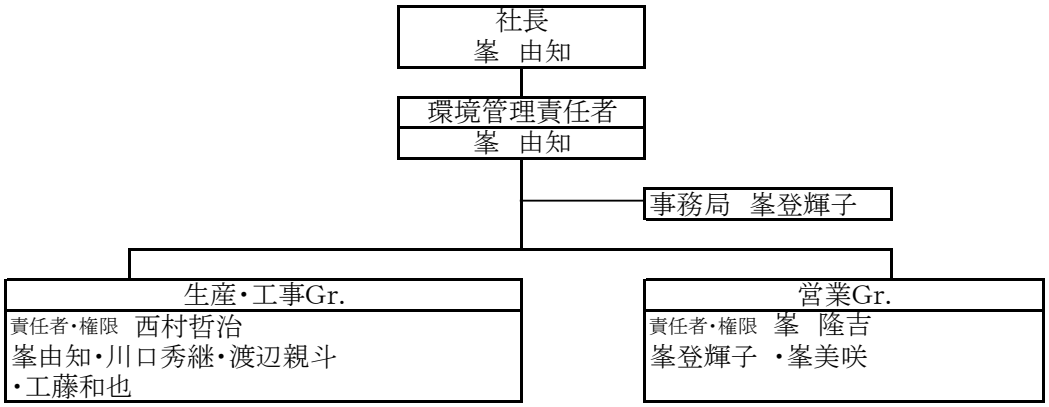
(8)事業規模　　資本金　　1000万円
従業員数　　9人

(9)事業年度　　10月1日より翌年9月30日まで

(10)関連事業所　　新日本炭化工業有限会社(株式会社　峯樹木園と同所)

(11)取組の対象範囲
全組織・全活動

2.実施体制図



取組み項目	主担当者	関係者全員
電気使用量の削減	峯登輝子　峯美咲	各取組み項目に関係するものは全員が活動に協力する。 1.環境方針の理解 2.創意工夫による改善提案 3.問題点の部門責任者への報告
ガソリン使用量削減　車	峯由知	
草刈機等	西村哲治	
軽油使用量削減　車	西村哲治	
重機	西村哲治	
廃棄物排出量の削減	川口秀継	
再利用の推進	川口秀継	
水使用量の削減	西村哲治	
グリーン製品の購入	峯登輝子　峯美咲	
化学物質管理	峯隆吉	
地域社会との調和	西村哲治	
新日本炭化工業(有) 関連事業所 木炭・木酢製造	西村哲治	新日本炭化工業(有) 関連事業所 木炭・木酢等の販売

3. 中期環境経営目標

（1）2019年度（2018年10月～2019年9月）を基準として、3カ年目標設定。

＊CO2排出係数は、九州電力2018年度　0.347（調整後）を使用する。

項目	（実績）2019年度	単位	環境目標 2020年度	2021年度	2022年度
1．二酸化炭素排出量の削減	46,603	kg-CO2	46,137（-1%）	45,671（-2%）	45,205（-3%）
◇売上高百万円当り排出量	291.3	kg-CO2/百万円	288.4	285.5	282.6
1-1．電気使用量の削減	18,746	kWh	18,559（-1%）	18,371（-2%）	18,184（-3%）
◇売上高百万円当り使用量	117.2	kWh/百万円	116.0	114.9	113.7
1-2．ガソリン使用量の削減	8,862	L	8,773（-1%）	8,685（-2%）	8,596（-3%）
◇売上高百万円当り使用量	55.4	L/百万円	52.8	52.2	51.7
1-3．軽油使用量の削減	7,573	L	7,497（-1%）	7,422（-2%）	7,346（-3%）
◇売上高百万円当り使用量	47.3	L/百万円	46.8	46.4	45.9
2．廃棄物のリサイクル化					
2-1．剪定木の利用（木炭作りを含む）	100（リサイクル率）	%	100	100	100
2-2．アスファルト・コンクリート くず・木くずリサイクル	100（リサイクル率）	%	100	100	100
2-3．ダンボールのリュース	100（リサイクル率）	%	100	100	100
3．水使用量の削減（地下水利用）	－（メーター無）	m3	節水推進	節水推進	節水推進
4．グリーン購入率の向上	88.6	%	購入実績記録	購入実績記録	購入実績記録

※原単位評価指数　2019年：160百万円

4.環境経営目標と実績（2022年度）

事業年度:2022年度　2021年10月～2022年9月

項目	（実績） 2019年度	単位	目　標 2022年度	実　績 2022年度	目標達成率
1．二酸化炭素排出量の削減	46,603	kg-CO2	45,205 （-3%）	52,090	87% （目標未達成）
◇売上高百万円当り排出量	291.3	kg-CO2/百万円	282.6	248.0	114% （目標達成）
1-1．電気使用量の削減	18,746	kWh	18,184 （-3%）	17,178	106% （目標達成）
◇売上高百万円当り使用量	117.2	kWh/百万円	114.9	81.8	140% （目標達成）
1-2．ガソリン使用量の削減	8,862	L	8,596 （-3%）	8,904	97% （目標未達成）
◇売上高百万円当り使用量	55.4	L/百万円	51.7	42.4	122% （目標達成）
1-3．軽油使用量の削減	7,573	L	7,346 （-3%）	9,873	74% （目標未達成）
◇売上高百万円当り使用量	47.3	L/百万円	45.9	47.0	98% （目標未達成）
2．廃棄物のリサイクル化					
2-1．剪定木の利用 （木炭作りを含む）	100 （リサイクル率）	%	100	100	100 （目標達成）
2-2．アスファルト・コンクリート くず・木くずリサイクル	100 （リサイクル率）	%	100	100	100 （目標達成）
2-3．ダンボールのリュース	100 （リサイクル率）	%	100	100	100 （目標達成）
3．水使用量の削減 （地下水利用）	－ （メーター無）	m3	節水推進	節水推進	節水推進 （目標達成）
4．グリーン購入率の向上	88.6	%	購入実績記録	購入実績記録 購入率91.8%	購入実績記録 （目標達成）

※グリーン購入率＝グリーンマーク有計／（グリーンマーク有計＋グリーンマーク無計）

※原単位評価指数　2019年:160百万円　2020年度:180百万円　2021年度:317百万円　2022年度:210百万円

※評価・達成率が85%以下は是正処置の対象とする。

5.環境経営計画と実施状況

環境方針及び環境目標を達成する為に下記の環境活動を設定し、取り組んでいます。

○実施できてない・●実施済み　　評価：◎：うまくいった　○：まあまあ予定通り　△：少し足りなかった　×：出来なかった

項　　目	具 体 的 な 活 動	事務所	現場	評価
電気使用量の削減	昼休みの消灯	●		◎
	使用時以外のトイレ、会議室等の消灯	●		◎
	OA機器の退社時の電源オフ	●		◎
	温度設定（夏28C°冬21C°）徹底	●		○
	空調機フィルターの定期的清掃　（年3回　4月.8月.12月）	●		○
	日よけ、ブラインドによる室温上昇防止（夏季）	●		◎
	使用しない機械、製造機器の電源遮断	●		○
	節電表示の徹底	●		◎
	事務所照明のLED化	●		◎
ガソリン使用量の削減 軽油使用量の削減	アイドリングストップの推進	●	●	◎
	経済運転の推進（急発進、急停車の禁止）	●	●	◎
	タイヤの空気圧チエック　（10月.1月.4月.7月）	●	●	○
	車輌別の燃料記録	●	●	◎
	不要荷物の積載禁止	●	●	◎
	ユニックの使用の効率化		●	◎
	ユンボ使用の効率化		●	◎
	車輌整備点検（半月1回）及び重機点検（月1回）		●	○
廃棄物のリサイクル化・ 廃棄物排出量の削減	社内情報のペーパレス化（メール、掲示等の活用）	●		○
	FAXのPDF化	●		◎
	両面コピー、裏紙使用の推進	●		○
	ゴミの分別の徹底	●	●	◎
	剪定木の自社チップ化、草止材として利用		●	◎
	剪定木から木炭作り		●	◎
	アスファルト・コンクリート殻のリサイクル		●	◎
	使用済みペットボトル・缶・ダンボールの再利用	●	●	◎
水使用量の削減	節水の推進、散水の適量化配慮	●	●	◎
	節水ステッカー表示	●	●	◎
	水洗タンク（トイレ）での手洗い推進	●	●	◎
グリーン製品の購入	エコマーク、グリーンマーク表示製品の購入推進	●		◎
	再生紙の購入推進	●		◎
	リサイクル製品の購入推進	●		○
	詰め替え可能な製品の購入推進	●		○
化 学 物 質 管 理	使用している薬品名の表示　　防除/除草		●	○
	保管場所固定、管理者の表示		●	◎
地域社会との調和	会社周辺の清掃　（11月.1月.3月.5月.7月.9月.）	●	●	◎

6.環境活動取組み結果の評価（2022年度）及び次年度の取組内容

※2021年10月～2022年9月の環境活動の取組みについて、評価を行った。

1.二酸化炭素排出量削減
絶対量では未達成だが、売上高当りは目標達成であった。
軽油使用量が増加によるところが大きい。

1-1電気使用量の削減
絶対量、売上高百万円あたりでも、目標達成である。
冷蔵庫新設の省エネ性能により削減達成出来た。

1-2ガソリン使用量の削減
絶対量では未達成だが、売上高当りは目標達成であった。
仕事量の増加及び工事現場が遠隔地が多かった事が影響している。

1-3軽油使用量の削減
絶対量と売上高当りが目標未達成であった。
樹木畑の整理のため、重機等の使用増加による。
工事現場が遠隔地が多かった事が影響している。

2-1剪定木の利用
剪定木はチップ機械にかけて自社の樹木生産地の草等の抑制・保護・堆肥に使用しています。
一部、幹部分の大きいものは木炭・白炭作りと炊きつけ材及び薪ストーブの燃料として
使用しています。炭窯から上がる煙から木酢液を生産しています。

2-2アスファルトコンクリートくず・木くずリサイクル
発生した場合は、中間処理業者に処理を委託しリサイクル使用するようにしています。

2-3ダンボールのリユ-ス
発生したダンボールは、木炭及び出荷苗などの梱包箱として使用します。

3水使用量の削減
天候や乾燥度合いを勘案しつつ適度な散水に努めています。
水道メータを設置していないため、水量カウントはできていません。

4.グリーン製品の購入
購入実績記録表を作成した。
グリーン購入率は91.8%であった。

5.地域社会との調和
会社周辺の清掃は2ヶ月に1回実施しました。
恵楓園内清掃作業　コロナの影響により中止

※次年度の取組内容
上記評価の結果、次年度の新しい取組は特に設定しない。
活動を継続する。

7. 環境活動状況

・社内活動

・木炭つくり
木酢液つくり

・造園緑化事業

・地域貢献活動
（会社周辺の清掃）

8.環境関連法規等の遵守状況

当社環境方針に環境に関する法律・条例の遵守を掲げて活動していますが、今までのところ社内における自己チェックにおいて違反はありません。過去3年間に、関係機関からの指摘事項及び訴等もありません。顧客や地域からの環境に関する苦情もありません。

区分	関連法規・条例等	該当品・施設	要求事項・対応策	遵守状況
産業廃棄物	廃棄物処理法	木くず コンクリートくず がれき類他 アスファルトくず	①廃棄物処理委託契約書締結	該当なし
			②マニフェスト交付・回収（保存5年間）	〃
			③保管場所掲示板設置	保管なし
			④産廃排出状況報告	該当なし
			⑤廃棄物処理委託業者への現地調査 （努力義務のため必須ではない）	〃
化学物質 （薬品）	毒劇物取締法	デイプテレックス乳剤 カルホス乳剤	①薬品保管庫（二重施錠） ②保管場所掲示板設置	OK OK
化学物質 （薬品）	消防法 （危険物）	デイプテレックス乳剤 カルホス乳剤	①保管場所掲示板設置 ②火気厳禁表示	OK OK
化学物質 （薬品）	労働安全衛生法	デイプテレックス乳剤 カルホス乳剤	①SDS ②応急対処法の掲示	OK OK
化学物質 （農薬）	農薬取締法	デイプテレックス乳剤 カルホス乳剤	農薬指導士（2名取得済み）	OK
設備	フロン排出抑制法	業務用エアコン	簡易点検記録（3ヶ月に1回）	OK
井戸	熊本県 地下水保全条例	井戸	設置届け	OK

9.代表者による全体の評価と見直し

（1）環境経営方針　変更なし

（2）環境経営目標及び環境経営活動

・EA21を取組んで10年以上が経過し会社の取組活動も着実に実施されている。

・電気使用量では冷蔵庫新設の省エネ性能により達成する事が出来た。

・ガソリン使用量は絶対値が目標未達成でした。それは、遠隔地での現場が多かった為と推察する。

・軽油使用量は絶対値及び原単位とも目標未達成でした。
樹木畑の整理の為、重機等の使用増加による。
工事現場が遠隔地での現場が多かった為と推察する。

・この為、電気・ガソリン・軽油を総合した二酸化炭素排出量では目標が未達成でした。
売上高百万円当たりでは達成出来ました。

（3）実施体制　生産・工事責任者Grが西村哲治に変更

2023年4月10日
代表取締役　峯　由知

10.次年度以降の中期環境経営目標

（1）2022年度（2021年10月～2022年9月）を基準として、3カ年目標設定。

＊CO2排出係数は、九州電力2021年度　0.382（調整後）を使用する。

項目	（実績）2022年度	単位	環境目標 2023年度	2024年度	2025年度
1．二酸化炭素排出量の削減 ＊計算方法　(1-1)×0.382 +(1-2)×2.32+(1-3)×2.58	52,691	kg-CO2	52,164 (-1%)	51,901 (-1.5%)	51,637 (-2%)
◇売上高百万円当り排出量	250.9	kg-CO2/百万円	248.4	247.1	245.9
1-1．電気使用量の削減	17,178	kWh	17,006 (-1%)	16,920 (-1.5%)	16,834 (-2%)
◇売上高百万円当り使用量	81.8	kWh/百万円	81.0	80.6	80.2
1-2．ガソリン使用量の削減	8,904	L	8,815 (-1%)	8,770 (-1.5%)	8,726 (-2%)
◇売上高百万円当り使用量	42.4	L/百万円	42.0	41.8	41.6
1-3．軽油使用量の削減	9,873	L	9,774 (-1%)	9,676 (-1.5%)	9,577 (-2%)
◇売上高百万円当り使用量	47.0	L/百万円	46.5	46.3	46.1
2．廃棄物のリサイクル化					
2-1．剪定木の利用 （木炭作りを含む）	100 （リサイクル率）	%	100	100	100
2-2．アスファルト・コンクリート くず・木くずリサイクル	100 （リサイクル率）	%	100	100	100
2-3．ダンボールのリュース	100 （リサイクル率）	%	100	100	100
3．水使用量の削減 （地下水利用）	－ （メーター無）	m3	節水推進	節水推進	節水推進
4．グリーン購入率の向上	88.6	%	購入実績記録	購入実績記録	購入実績記録

※原単位評価指数　2022年：210百万円